

総合計画体系	事務事業名		農地災害復旧事業(R3災)		所属部	建設部		所属課	農地整備課 (災害復興T)		
		政策名		〈V〉挑戦し活力を産みだすまち≪産業≫		所属G	災害復興G		課長名	今岡 久	
		施策名		〈34〉農業の振興		担当者名	高木 洋輔		電話番号	0854-40-1062	
									(内線)	2474	
		目的:対象		市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。					
		基本事業		〈097〉農業基盤の整備・保全		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 5 5 0 1 項 目 中事業 中事業 0 5 1 0 0 5		農地災害復旧事業		
目的:対象		担い手農家をはじめとする農家	意図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。							
								令和3年過年農地災害復旧事業			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災した農地(田、畑)	被災箇所の復旧を図ることにより、農林水産業の維持を図り、併せてその経営の安定に寄与する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返(年度 ~ 年度) ☒ 期間限定複数年度 (R3 年度 ~ R7 年度)	豪雨災害により、畦畔崩壊などの被災を受けた農地(田・畑)を原形復旧するもの。 採択申請要件として24時間雨量80mm以上かつ時間雨量20mm以上であること、1箇所の工事費が40万円以上であること。 暫定補助率:50% → R3年度補助率:97.3%(激甚災害) 受益者負担 通常:4% → R3災:1.35%(担い手に利用権設定している農地は0%)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) 〈R3災〉 R4繰越 繰越分64箇所完了 R5現年 133箇所発注→44箇所完了、89箇所R6へ繰越	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) R3災は非常に甚大な被害であったことに鑑み、特例措置として受益者負担を通常より引き下げている。(通常:4%→R3災:1.35%、担い手に利用権を設定している農地は0%)

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 発注率(年度末時点)	%	0	48	67	100
イ 完了箇所数(全体301箇所)	箇所	0	6	108	97
ウ 完了率(年度末時点)	%	0	2	38	70
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【R4繰越(R3災)】工事費:128,835千円 【R5現年(R3災)】工事費:189,140千円、補償金:941千円、事務費:2,505千円 計:192,586千円 合計:321,421千円 ※地方債:災害復旧債	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円	183,023	297,919	602,451
		地方債	千円	14,400	11,600	25,000
		その他	千円	251	3,138	9,915
		一般財源	千円	3,795	26,123	7,746
	事業費計	千円	3,795	223,797	321,421	645,112

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被災農地の復旧により、農業経営の維持安定化が図られた。 R6年度以降引き続き早期復旧に努める。
② 事業実施するうえでの課題	R3災は非常に箇所数が多く、農災以外にも治山・林道災、公共災など多様な災害が発生した。復旧には複数年かかる見込みであり、他の災害と調整を取りながら計画的な発注が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国、県、農家との情報共有を行い、円滑に事業進捗するよう努める。